

成 田 市 教 育 委 員 会 会 議 議 事 録

令和6年10月成田市教育委員会会議定例会

期 日 令和6年10月24日 開会：午後4時00分 閉会：午後4時25分

会 場 成田市役所5階 502会議室

教育長及び出席委員

教 育 長	日 暮 美智子
委 員（教育長職務代理者）	高 山 勇
委 員	佐 藤 勲
委 員	片 岡 佳 苗

出席職員

教育部長	小 川 雅 彦
教育部担当次長	藤 崎 清
教育総務課長	川名部 康 文
学校施設課長	大須賀 一 夫
学務課長	井 上 功太郎
教育指導課長	三 村 洋 一
生涯学習課長	野 村 貴 子
学校給食センター所長	福 島 由 規
公民館長	菅 井 良 江
図書館長	高 仲 浩 一
教育総務課長補佐（書記）	神 崎 裕 一

傍聴人：0人

1. 教育長開会宣言

2. 署名委員の指名 高山委員、佐藤委員

3. 前回議事録の承認

4. 教育長報告

主催事業等

○10月5日 成田市制施行70周年記念 図書館開館40周年記念 文学講座について

作家の椎名誠氏をお迎えし、「さまざまな本、さまざまな旅」という演題で行われました。申し込み開始数日後には応募数を超える申し込みがあり、また、当日は雨模様にもかかわらず、定員150名のうち144名の参加で、図書館2階のホールがいっぱいになりました。

幼少の頃の数か月を酒々井町で生活されたことを、冒頭話してくださり、椎名氏を身近に感じることができました。

椎名氏が話されている内容が「あの本の、あの部分だ」と即座にわかる反応をされる参加者もあり、愛読者が多いということを感じました。うなずきの反応あり、笑いありで楽しい1時間30分でした。

○10月16日 成田市制施行70周年記念 2024成田市青少年音楽祭について

市内小学校18校が参加し、成田国際文化会館で開催されました。ミュージカルが1校、他は合唱での発表でした。教育委員会として挨拶した際、「おはようございます。」と話しかけると、会場の子どもたちから、元気な声で「おはようございます。」が返ってきて、「頑張りましょう。」には、大きな声で「はい!」と答えてくれました。

合唱部としての参加、ひと学年での参加、複数学年での参加等、形態は異なりますが、体全体で歌う様子や笑顔で歌う姿に、心が洗われました。

成田市青少年育成市民会議そして地区の青少年健全育成協議会の方々が、朝早くから準備され、運営にもあたってくださいました。このような地域の方々に支えられていることを改めて感じた次第です。

○10月23日 文化財審議委員会について

今年度第1回目の本会議に、7名の委員に出席をいただきました。考古学、民俗学、宗教、中世史、植物生態学等、多岐にわたる専門家で構成され、報告に対する意見等でも造詣の深いお話

をいただき、たいへん有意義な会議になりました。

事務局からは、大きく2点、令和6年度の文化財関係事業の説明と、埋蔵文化財の照会状況・発掘調査について報告がありました。

あわせて、市指定文化財天然記念物「赤荻の大エノキ」の大枝が折れてしまったことや、幹が傾いている現状を報告しました。今後の対応についてご意見をうかがったところ、委員からは「木の傾きについては様々な要因があり、要因によって管理の方法が変わってくること」、古くから大事にされてきたことが指定理由に含まれていたのであれば、地元の人が木を残してきた意味を考え、今後の対応を考えてほしい」等の意見が出され、今後の検討の指標となりました。

その他

○10月1日 オールジャパンベースボール中等部全国大会2024出場激励会について

成田市スポーツ少年団の成田選抜が千葉県予選において、優勝し、全国大会への出場が決定したことを激励する会です。

14名の選手とアテンド、監督、コーチが出席し、市長、議長の激励の言葉の後、出席者の紹介、選手代表挨拶がありました。

選手は市内7中学校の生徒からなり、学校は異なっても和気あいあいとし、お互いの良さを知っている様子を感じました。練習日程を調整する大変さを監督はおっしゃっていました。なによりも、夏の猛暑の中、練習を重ねてきたことは大変だったと思います。

○10月2日 第78回国民スポーツ大会・第23回全国障害者スポーツ大会出場選手成田市壮行会について

本壮行会は、「国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会」に見事出場する選手を激励する会です。

11名の代表選手が来庁し、競技は、陸上、体操、馬術、銃剣道、ボウリング、バスケットボール、アーチェリー、水泳でした。

中学校、高等学校在籍の選手から一般企業に勤める社会人の方まで幅広い年齢、そして高校在籍でもクラブチーム所属のようにスポーツへの参画の仕方も多様化していることを感じました。市長、議長の激励の言葉の後、決意表明があり、どの選手も、「成田によい結果を持ち帰りたい」という気持ちを表明してくださり、とても頼もしく感じました。

○10月2日 令和6年度第3回成田市副校長・教頭研修会について

教育指導課からは、部活動の地域移行を含め3点、学務課からは就学援助制度を含め3点の連絡事項がありました。学務課からの連絡では、「避難所開設時の教職員の勤務について」、避難所開設後において、自宅等の連絡が取れる場所での待機が可能であることが示されました。遠方に居住している管理職が大雨強風の中で移動することには危険を伴いますので、今後も安全管理を行いながら、施設管理者として避難所運営に協力いただきたいと思います。また、日頃より、市役所担当と学校が、有事に備え、備品の使い方等、丁寧に情報共有することが求められると思いました。

○10月3日 令和6年度千葉県教育庁北総教育事務所指導室訪問について（成田中）

この日の指導室訪問には、お二人の教育委員さんもお見えになっておりましたので、改めて私からご報告する必要があるかもしれませんが、本時の学習問題を提示し、学習過程が明確な授業が多かったように思いました。参観された教育委員さんでご感想があれば、この後お聞かせください。

○10月5日 成田市民文化祭2024短歌大会について

図書館での文学講座の後、中央公民館で行われていた本大会に参加いたしました。残念ながら作品鑑賞や作品講評には間に合わず表彰式のみでしたが、閉会后、個別にお話しができたのが良かったです。

今年応募された歌は22選で、その中から市長賞、成田市民短歌大会大賞、成田市議会議長賞、成田市教育委員会教育長賞、成田市文団連会長賞が選ばれ、それぞれの表彰が行われました。

互選による選出が続けられているとのことをうかがいました。このことが永く本大会が続いている理由のひとつかもしれません。また、数日後、読売新聞に、応募者の方の別の句が掲載されているのを拝見し、うれしく思いました。

○10月12日 成田市制施行70周年記念 第13回成田スポーツフェスティバルについて

平成3年度より、コロナ禍での開催のため、競技形式からスポーツ体験方式へ変更されていた本フェスティバルですが、今年度は、午前のスポーツ体験会に加え、午後大縄跳び、玉入れ、リレーといった競技方式が実施されました。

午前は、主に、幼少から中学生の子どもたちが親御さんと一緒にスポーツを楽しんでいました。車いすレーサーやスポーツクライミングには列をつくって並ぶ様子もみられ、普段体験できない競技への体験、また、サッカーなど身近な競技では指導者に教えてもらいながらの体験ができていました。

○10月12日 成田市制施行70周年記念 夢に向かってキックオフ 元サッカー・フットサル日本代表によるサッカー教室について

3名の日本代表OB／OGのゲストを招いて、成田市内のサッカーチーム小学校5・6年生を対象にサッカー交流会が行われました。サッカー教室を行ってくれた坪井慶介氏、鮫島彩氏、相根澄氏は、子供たちの輪に入り、賞賛や励ましの言葉をかけながら、練習の仕方を教えてくださいました。

少しもったいないなと感じたことは、子供たちだけではなく、指導者が参観すれば参考になったのではないかなと思いました。

○10月15日 令和6年度教育長・校長合同会議について

印旛・香取・海匝地区の教育長・市町主管課長・校長が一同に会し、多古町コミュニティプラザホールで行われました。主に教職員の年度末人事異動に関する内容を、教育事務所から伝達されました。

会議の前に、千葉県教育委員会の荒金教育振興部長から「不祥事根絶」「児童生徒理解」「教員志願者の状況」について3点について講話がありました。

特に、児童生徒理解の話では、「体罰・暴言を指導の一環として許容されるのではないか、とっていないか」「あえて突き放す指導は、児童生徒にとっては時には見放されたと感じることを理解しているか」など児童生徒に寄り添った指導が求められていることを具体的に話していただきました。

また、人事異動手続きの説明の中で、教職員自身が作成する個人調査票について、「転任希望の具体的な理由は遠慮なく書いてほしい」と説明されました。校長先生方には、一人ひとりにとって人生の大切な一部分である異動について、職員からよく話を聞いていただき、気持ちに寄り添っていただきたいと願うばかりです。

○10月22日 北名古屋市議会行政視察について

北名古屋市議会福祉教育常任委員会6名の議員及び教育部長が来庁しました。北名古屋市は

平成18年に2町が合併し、人口は8万6千人、名古屋のベッタタウンとのことでした。面積は成田市の10分の1程度の中に、小学校10校中学校6校があり、今後の児童生徒数を見越すと、学校の統廃合を検討すべき時期となっているそうです。

本題は「学校適正配置について」でした。教育総務課長、学校施設課長、学務課長、教育指導課長より丁寧な説明がなされ、その後の質問では、部長、各課長より回答がされました。統廃合について、いかに地域住民の理解を得ていったか、が最大の関心事のように思えました。

○10月23日 府中市議会行政視察について

広島県府中市議会総務文教委員会5名の議員及び事務局職員の方々が来庁しました。府中市は、新幹線福山駅から18.5kmほどに位置し、人口約3万5千人、ものづくりの町として、婚礼家具を中心に栄えてきたとのことでした。

本題は「スポーツ振興について」「部活動地域移行」で、スポーツ振興課長、教育指導課長よりプレゼン資料を用いて丁寧な説明がなされました。

「部活動地域移行」については、千葉県の方針、委託業者の選定、指導者への報酬、教員が指導者になる場合の働き方改革との折り合い等、具体的に質問され、関心の高さを感じました。

○10月24日 リーディングDXスクール事業 公開授業研究会について（加良部小）

4授業展開でしたが、先ほど午後の2つの授業参観に行ってきました。

「情報活用能力の育成」、副題として「問題解決のための情報活用」という主題のもと、5つの学習プロセスが掲げられていますが、2年生の生活科では「情報収集」のプロセス、4年生の社会では「整理分析」のプロセスの授業を拝見しました。

2年生の児童がタブレットを使って自分のやるべきことを確認したり、4年生では、表示された友達の答えに指でアンダーラインを引いていたほか、先生方もタブレット上の指導案に感想を打ち込んでいるという姿を見ますと、教育活動の深化を感じることができました。

《教育長報告に対する意見・質疑》

佐藤委員：まず、10月3日の成田中学校の指導室訪問に参加いたしました。前半は金城教頭先生、後半は大塚教育センター所長のご案内で丁寧に説明していただきました。成田中学校は、丸校長先生が前任の濱谷校長先生の学校教育目標を引き継いでおられ、校長先生

が変わっても自然な学校経営がされているなと感じました。午後の眠い時間にも関わらず、生徒は授業に向かい合っていて、授業規律がよかったなと感じました。また、先生方の生徒への言葉遣いや対応が丁寧で、とても好感を受けました。英語の授業では、ハロウィンを扱った福士先生はALTと遜色ない英語でし、野地先生は淡々とした英語でこれもいいなと感じました。成田の英語の力は素晴らしいと改めて感じました。さらに、英語力がすごいと感じたのは、特別支援学級でも英語をやっていたのですが、普通学級と遜色ない内容のものであり、驚かされました。

次に、10月20日に大栄地区の敬老会があり、大栄みらい学園の吹奏楽部に出演していただきました。とても素晴らしい演奏でした。また、顧問の先生と生徒たちの関係性がとてもよい様子を見ることができ、これが部活動なんだなと感じたところです。

スポーツ庁は、土日のエスカレートした部活動の改革とか働き方改革と言って部活動を地域に移行させようとしていますが、こんないい関係を保っている教育の一環としての部活動を大急ぎで変える必要はないのではないか、受け皿となる特別なクラブがない地域では、国のいう方向にまとめることは難しいのではなかと感じたところです。

片岡委員：私も成田中学校に訪問させていただきました。子どもたちがとても素直で、一生懸命授業を受けている様子を見ることができました。また、先生との掛け合いや関係性ができている様子を見させていただきました。体育館でタブレットを活用した授業が行われるなど、工夫されている様子も見ることができました。

次に、先日、図書館の青少年コーナー「青春H i R O B A」に行ってきました。とても明るい雰囲気でした。1つ感じたことは、スマホでの調べ学習が普通になってきますので、Wi-Fi環境があるとよいのではないかと感じたところです。ぜひ整備していただければと思います。

5. 議 事

案件等なし

6. その他

特になし

7. 教育長閉会宣言